

新年のごあいさつ



登別市議会議長
天神林 美彦

新年あけましておめでとうございます。
年頭にあたり登別市議会を代表し、市民の皆さまに謹んでご挨拶を申し上げます。
市民の皆さまにおかれましては、希望にあふれた新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。
日ごろから議会活動に対し特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、登別市議会では、市民の皆さまからのさまざまなご意見を拝聴し、議員間での考え方の違いなどを話し合った結果として、次期改選期からの議員定数を2名削減することといたしました。
また、議会改革の継続と議会基本条例のさらなる実効性の確保に向けて、議会からの政策提案の充実や、議会基本条例の理解・遵守がなされていたのかについての自己評価などにも取り組んでいくこととしたところでございます。
今後におきましても、市民の皆さまからのご意見などを十分お聞きして活発な議論を重ね、市議会の改革・活性化に取り組みながら、市民と協働する議会を目指し、全力を尽くしてまいります。
結びに、市民の皆さまにとりまして、本年もご健勝で明るく、幸せにみちあふれた実り多き年となりますことを心からご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。



登別市長
小笠原 春一

新年あけましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年は、市民と行政による協働のまちづくりの取り組みとして、住みよいまちを目指すため、平成28年度から平成37年度までの10年間に必要な市の施策を示す『登別市総合計画第3期基本計画』の策定に向け、公募や各種団体から推薦された市民41人で構成する市民検討委員会と、さまざまな部局の市職員65人で構成する庁内検討委員会が始動しました。
市民検討委員会は、市民と市職員が対等の立場で、本音でまちへの思いを語り合いながら、市民にも登別市の将来を主体的にお考えいただくことを目的に設置し、皆さまには6つの部会を中心に、連日、時間をかけて熱心に市職員などとの意見交換を重ねていただいております、平成27年度中の第3期基本計画の完成に向け、これからも熱い議論が続きます。
本年も、子どもからお年寄りまで、市民の皆さまが将来にわたり生きがいを持ち、安心して住み続けることができる魅力あるまちを築いていくため、決意を新たにして市政の推進に努めてまいります。
本年が皆さまにとって、幸多き年であることを祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。